

Press Release

2022.9.1

Matsuura

JIMTOF2022 に出展



株式会社松浦機械製作所 (代表取締役社長 松浦勝俊・本社：福井県福井市東森田 4-201 TEL0776-56-8100)は、2022年11月8日(火)～11月13日(日)の6日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)で4年ぶりに開催される日本国際工作機械見本市『JIMTOF2022』に出展します(東・南展示棟の2カ所)。

JIMTOFは、工作機械およびその関連機器等の展示会であり、今回は東京ビッグサイトの東・西展示棟に加え南展示棟を新たに利用し、過去最大規模で開催されます。

新機種2台を世界初披露 「自動化・無人化」の最新機能とユーザ実例を余さず公開

今回のJIMTOFでは、累計出荷台数3,500台以上(2022年8月末時点)のベストセラー5軸制御立形マシニングセンタ **MX Series**、**MAM72 Series** から4台の最新機種を出展します。5軸エントリー機としての使いやすさと夜間無人運転を実現する『新型 **MX-520 PC4**』(写真左端)、変種変量生産・週末無人運転を実現するタワーパレットシステム標準『**MAM72-52V PC15**』(左から2番目)の2台に加え、JIMTOFで世界初披露となる新機種2台を実機展示・実演致します。

本展示会では『選ばれる理由にこだわる』をテーマにした「自動化・無人化」「見える化」「環境対応」の取り組みをお披露目します。お客様が抱える生産現場の効率化や労働力不足の解決に向け、マツウラの“止まらない機械”を支援する実用的な機能や5軸+マルチパレットで生産性向上・省人化を実証するユーザボイス(実例)を一堂に出展します。お客様の工場スペースや工作物寸法に応じて最適な機種が選択できるように市場の自動化ニーズにマッチする次世代5軸機をフルラインアップで紹介します。

また、特別展となる『Additive Manufacturing エリア』(南展示棟)では、2002年に世界初のハイブリッド金属3Dプリンタを開発して以降、20年以上AMに取り組んできたマツウラが本当に伝えたい“AMのモノづくり”と題し、ハイブリッド金属3Dプリンタ **LUMEX Series**の最新の造形事例やユーザ実例を通して、AMの加工プロセス(工程検討から後加工、評価まで)が学べる展示を行います。

特設サイトで毎週見どころ配信 新機種や自動化ソリューションの最新情報を随時更新

本日、9月1日(木)から『JIMTOF2022 専用サイト』(当社HPもしくは下記QRから登録なしで閲覧可能)を開設し、開催前から期間中まで展示会の見どころや新製品情報をお届けして行きます。